

土しゃさいがいからいのちをまもる

小林市立野尻小学校 三年 上園 芽李

わたしは、お父さんと一しょに、山かへず
れて道路がなくなっている所を三か所見に行
きました。雨の時お父さんが反トラールやか
んばんをたてに行つた所でした。

くずれてゐる道路を見て、何かげんいんで
くずれたのか、どうやって元通りに直すのか
考えるとてもこわい気持ちになりました。そ
して、安心して通れるようになるのはいつに
なるんだらうと思いました。

何がけんいんか考えました。わたしは、大
雨のあとの水たと思いました。水と土がまさ
て下にながれていたからです。道路の方は
水がながれてこないようにブルーシートをし
いておもりでふつぱうていました。立入きん
止のかんばんやカラーコンがたくさんならん
でいました。何のためにしているのか考えま
した。わたしは、二つのことを思いました。
一つは、安全に早く通れるようにまもつてい

ると言うことです。そしてもう一つは、ミト
なのいのちをまもるためだと考えました。

大雨の水が悪さをしていると思っただけで水
は、とても大切な物です。みんなかの人だり
田んぼや畑で作られるお米や野菜いも水がひ
つようです。水は大事だけどたくさんぶると
とてもこあい物だと思ふようになります。
くずれている所をどうやって直すのが分か
りませんでしたが。お父さんからしゃんを見
せてもらいました。きかいて土をほったり、

山をけずったりしていました。人がたくさん
のロープでぶらさがってコンクリートをほ
ていました。あたしたたらとてもこあくて
のべれないと思います。かけの上にはぼる
だけしなくて、けずったりほるのはとても
あずかしく、大へんそうでした。

できあがった所を見に行ったり、しゃん
を見ました。大雨の水から人をまもるため
に道路にコンクリートをはいたり、けずった山
に木が植えられていました。そのすがたを見

たら、元気に生きかえっているようにした。
テレビやニュースで、大雨のせいであれ、家がこ
われたり川にながされたのを見ることも、こ
れい気持ちになります。人のいのちがなくな
るのを聞くと悲しくなります。

この夏休みで、三つのくずれている所を見
て考えたことがあります。

一つ目は、コンクリートで道路がまもられて
いると言う事です。二つ目は、水が一気にな
がれないように木を植えたり水がためられる

所がたくさんあると言う事です。

一番大切なのは、人のいのちです。いのち
をまもるためや、安心して道路が通れるよう
にしているのはおどろきました。いろんな場
所を見て、雨はこわいなと思いましたが、直し
ていた所もたくさん見たのでとても安心で
きました。